

放送大学 北海道同窓会会報

第 17 号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 中根 恵美子

編集 広報担当

発行日 2011 年 1 月 1 日(土)

URL:<http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 192 名(2010 年 12 月 28 日現在)

謹 賀 新 年

「同窓会の目的達成のために」

北海道同窓会 会長 中根恵美子

私が同窓会のお世話役になって 3 年、会長に就任してこの 3 月で 2 年が経ちます。北海道同窓会の会長としての役割は何なのか何時も思い、そのつど会則でこの会の目的を読み、どうしたら目的を達成できるか考えています。

(放送大学北海道同窓会会則抜粋)

第3条 この会は、会員が生涯学習の理想と現実を目指すと共に、相互の親睦ならびに母校の発展と全国の同窓会との交流を図る事を目的とします。

第5条 この会は第 3 条の目的を達成するために次の事業を行います。

- (1) 母校発展のための後援
- (2) 放送大学北海道学習センター学友会との親善を図る
- (3) 放送大学北海道学習センターにおける教育及び研究に学ぶ機会を持つ
- (4) 同窓会誌・ニュースなどの発行
- (5) 放送大学同窓会連合会に加盟し交流する

昨年 10 月 15 日北海道学習センター開設 20 周年記念行事があり、石学長から背中を押された事をきっかけに前例主義ではなく、画期的にチェンジしようと決心しました。この会の目的の為に毎日努力しておりますが、前述の意味すべき事は第 5 条(2)「学友会との親善を図る」を進める事と考え、その方法を昨年 11 月 13 日役員会を開催して検討しました。まず、「全道生涯学習研究発表会」(同窓会主催で 6 回開催済み)と「みんなの音楽祭」(同窓会主催で 2 回開催済み)を同窓会主催ではなく、学友会・学生サークルと共に実行委員会を立ち上げ、北海道学習センター全体で開催する。と決議しました。決議内容を筑和センター所長・佐藤事務長にお伝えし、協力・共催をお願いしましたら、筑和所長から「みんなの学会にして行こう」と力強い言葉を頂き、事務長からも応援するとの言葉を頂きました。学習センターの協力の下「第 7 回全道生涯学習研究発表会実行委員会」が立ち上げられ、皆さんの協力のもと実行委員長は学友会会長小林祐吉氏が引き受けて下さいました。まず一歩進みました。

今年度で正副会長や役員の任期が満了となります。新たな人選で又新しい進化した同窓会にして頂きたいと人選に苦慮しております。会の目的を達成するために働いてくださる方、是非次期正副会長に名乗りを上げてください。



同窓会と活性化

北海道学習センター所長

筑 和 正 格

所長就任以来半年が過ぎました。この間、同窓会関連の行事である「研究発表会」(6月)と「みんなの音楽祭」(8月)に顔を出させていただきました。両方の行事とも「道民カレッジとの連携講座」と銘打っておりますが、実質的には北海道学習センター同窓会の方々が企画・運営していることを知り、実行担当者の高い能力に関心した次第で

す。

「高い能力」というのは、きわめて高レベルな内容をもつ催事を実現させているという意味です。『てんとう虫』第 80 号でも紹介したように、研究発表会における発表は、一般的な全国学会での若手研究者のそれに決してひけをとるものではありません。また、「音楽祭」における演奏家お2人のパフォーマンスは、言うまでもなく、高度な力量を示して聴衆を魅了するものでした。本来ならば、あの額の入場料ではどうも聴くことのできない演奏です。この音楽祭でこうしたプロフェッショナルを招聘できるというところに、特に、実行した方々の高い能力を感じ取りました。幸いなことに、今回は収支決算もまずまずとのこと。いろいろとご苦労はあることでしょうが、今後もこのような文化的な行事を継続することが、同窓会員のモラル(士気)を高め、同窓会活動の活性化につながっていくのではないかと思います。同窓会活動の活性化とは、卒業生のネットワークの活性化でもあります。それは、卒業生が連絡を取り合い、協力のもとで活動が展開される状態を言います。

放送大学在学中に何らかの人間関係を築くことができたならば、それはとても貴重なことです。しかし、もし卒業後、徐々にそれが解消されるのであれば、非常にもったいないと言わざるをえません。にもかかわらず、「去る者は日々に疎し」と言うように、放っておけば人間関係は希薄になるのが常でしょう。そうしたときこそ、同窓会組織の存在が意味をもってきます。なぜならば、同窓会は、卒業生に(と同時に在學生に)広く呼びかけて、上で述べたような集いの場を提供してくれるからです。同窓会のことを英語で“Reunion”といいます。同窓会は文字通り卒業生(ならびに在學生)の「再結合」の場です。同窓会活動の活性化は、放送大学北海道学習センターの活性化にもつながります。「研究発表会」は学習センターの施設を用いる催事ですが、これはセンターに人が集まるということであり、集客による場の賑わいという点での活性化をもたらしています。また、「音楽祭」は、センター外の施設で行われましたが、少なくともパンフレットやプログラムに載った「放送大学」という名前が多くの人々の目に触れているという点で活発に PR の役目を果たしているのです。

同窓会は、公認・非公認の全サークルとともに、放送大学に関わりをもった(もつ)人々のネットワークと学習センター自体の活性化に欠かせない存在です。積極的に活動を継続されることを、大いに期待いたします。

第 6 回全道生涯学習研究発表会を終えて



第6回全道生涯学習研究発表会が、6月5日(土)に放送大学北海道学習センター6F 中講義室で道民カレッジ生も交え道民カレッジ講座として多数の参加をいただきながら行われました。

記念講演には、登別クマ牧場 ヒグマ博物館館長 前田菜穂子氏による演題「ヒグマが育てる森」で、ヒグマを知らなかった時に感じていた思い込みによる恐怖から、その変化の過程を皆様と分かち合うことができれば、クマと人との共存の道を一步進めることに役立つのではないかと、クマへのお返しではないかなど、クマとの共存の実現について講演をしていただきました。

そして、発表では下記の方々の発表と活発な意見交換がされました。

研究発表

発表 1 テーマ「緑地福祉」の必要性とその展開に関する研究 及川 修司 氏
平成 21 年 3 月 放送大学大学院 文化科学研究科 政策経営プログラム修了

発表 2 テーマ「日本ザリガニの研究」 田中 一典 氏
平成 22 年 3 月 放送大学大学院 文化科学研究科 修了

発表 3 テーマ「e-ラーニング」を活用した英語教育の研究 鈴木 猛雄 氏
平成 22 年 3 月 放送大学大学院 文化科学研究科 修了

発表者の方々の感想や現在の活躍の様子を寄稿して下さいましたので、お伝え致します。

第 6 回生涯学習発表会に参加して



放送大学大学院 平成 21 年 3 月 修了

及川 修司

第 6 回の全道生涯学習研究発表会では「『緑地福祉』の必要性とその展開に関する研究」というテーマで発表する機会を頂きました。発表後の質疑応答では、会場からの本質を突いた質問や意見に加え、センター所長の筑和先生からも励ましと御指摘を頂き、改めて論文の発表というものが、研究成果の公表のみならず、継続して自分の研究を研鑽していくための、貴重な機会であることを痛感しました。ここに企画・運営等、開催に携わる方々へ感謝を申し上げる次第であります。

その後の研究活動では、7 月の下旬に第 32 回北海道特別支援教育研究協議会の全道大会が余市町公民館であり、障害児教育分野の関係職員等を対象に、「自然を活用したケアと特別支援教育～つながりが生み出す QOL の向上～」というテーマで発表する機会に恵まれました。それから、9 月に北大大学院教育学院（教育学専攻生涯学習講座社会教育）の修士課程に合格することができ、来年 4 月より仕事をしながら、研究を進めることになりました。研究テーマとしては、「コミュニティファームの活動と協働の社会教育」を考えています。

“人が人間らしく喜びを持って社会と繋がる”そのための学習を微力ながらこれからも続けていきたいと思っています。

「研究発表は自分を成長させてくれるチャンス」

放送大学大学院平成22年3月修了

田中 一典

去る6月5日、第6回全道生涯学習発表会において、『ニホンザリガニの保全』に関する研究テーマで発表の機会をいただいた。

何かを発表するという意義や理由は色々とあるが、私の場合は主に以下の2つの要素が大きい。

一つ目は、自身の研究に対して、他の人の関連研究成果を知って知的興奮を味わったことへの恩返し。二つ目は、調査対象やそれらを取り巻く環境への罪滅ぼしである。特に、自然フィールド調査は、少なからず、その調査地へ負荷を与えている。調査地や目的地までの周囲の植生や生き物に気を使ったつもりでも調査後は人が足を踏み入れた形跡が残り、攪乱が起きている。おそらく対象生物を含めて多くの植物や生き物を踏みつけ、傷つけている。そのような犠牲のもとに調査研究が成り立っていることを考えると、『何らかの形で調査した結果や研究成果を発表しなければならない』という気持ちになる。また、成果を書き物にし、発表することは、調査や研究の質を高めることにつながる。人にわかりやすく論理的に説明するために、データ解釈の妥当性や結果に対する考察を繰り返すことになる。このことが調査や研究を更に発展させ、そして自身も成長させてくれる。

今回、このような機会を与えてくれた皆様に深謝する。

放送大学大学院平成22年3月修了

鈴木 猛雄

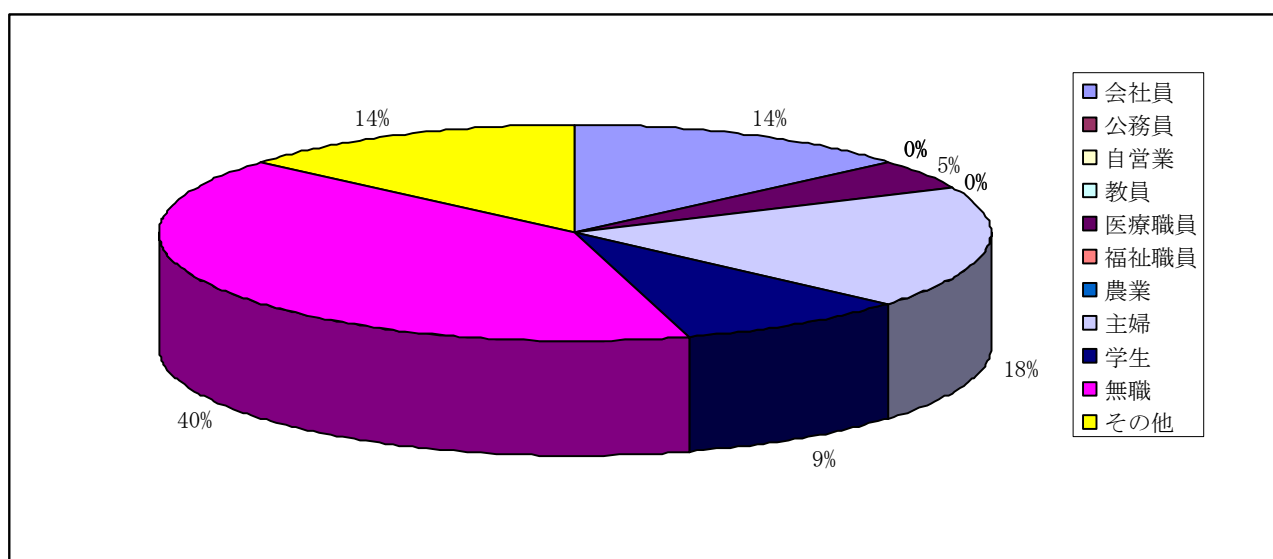
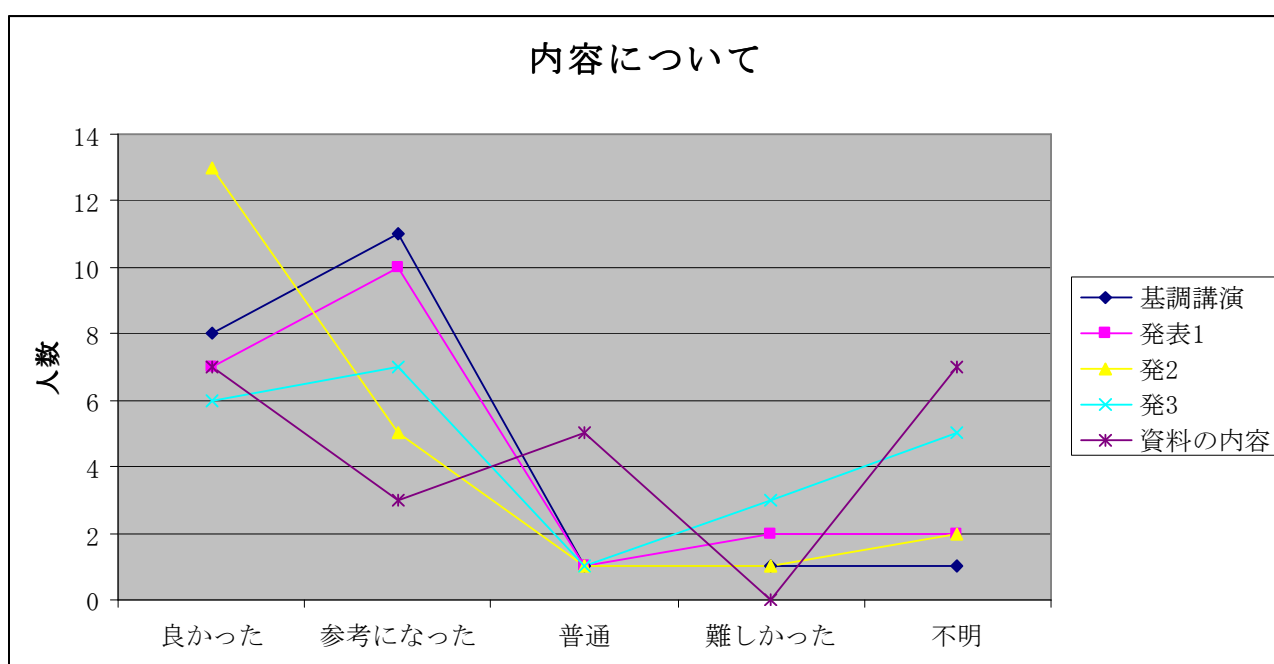
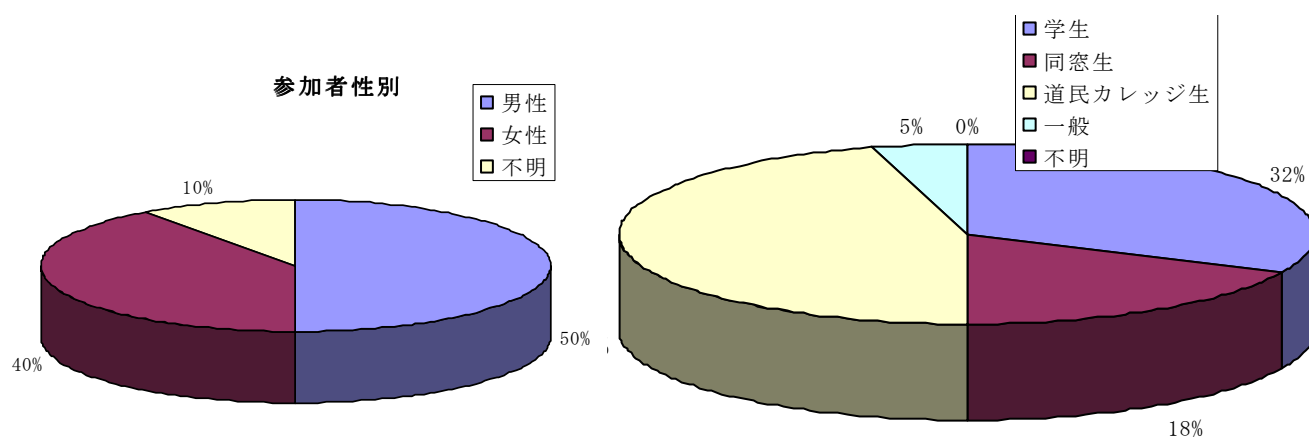
第6回生涯学習研究発表会において貴重な発表の機会を頂けたことを心から感謝申し上げます。同時に参加された方々に期待にそえなかったことをお詫び申し上げます。実はコンピュータで実際にどのように e-learning が動くのか直に目にして理解して頂ける機会を設定できませんでした。マックの接続が当日正常に作動してくれずにご迷惑をかけてしまいました。

言語は脳の成長に合わせて学ぶことで母語として人間に備わるようになる。母語と外国語の決定的な違いがそこに存在する。

その後研究テーマを考えました。私は感情を司る脳の機能に働きかける e-learning の開発に成功すればネイティブと同じ感覚で言語の習得が可能なのではないかと思っています。近いうちにこのような仮説に基づいた教材開発をしてそれを実施しその可能性を検証する予定です。

できあがれば今度はパワーポイントでご覧になりながら観て頂けるかもしれません。一日も早く放送大学に博士課程が設立されることも期待しつつ皆さまの研究と学習がさらに発展することを願っています。

第6回全道生涯学習研究発表会のアンケート結果



富田先生有難うございました！そしてお疲れ様でした！

前センター所長富田房男先生へ同窓会から感謝状を贈呈しました。



富田先生同窓会を力強く応援していただき有難うございました。そして教え導きくださりまして有難うございます。又、特別会員と参与になって頂き、感謝しています。先生は退官と同時に放送大学に入学されました。早く卒業して名実共に同窓会員になって下さい。今後とも同窓会の応援を宜しく御願い申し上げます。

放送大学北海道同窓会幹事一同



♪♪第2回「みんなの音楽祭」♪♪ ー道民カレッジ連携講座 (4単位)

第1部 14:00ー15:45

放送大学北海道学習センター「うたの会」

朗読 中川俊二「ひかりの素足」より一、山小屋

ピアノ演奏 下島教子

二胡（中国の楽器）演奏 張 禹

宮本 尚作詞・作曲・歌・ピアノ

北ネット合唱団 コーラス(差波 毅彦・黒子奈美江・中根恵美子)

(休憩)

第2部 16:00ー18:00

チェンバロ（明楽みゆき）・フルート（八條美奈子）の共演

曲目 J.S. バッハ フルードとオブリガートチェンバロによるソナタ

M. Th. パラディス シチリアーノ

G. F. ヘンデル 涙のアリア 他

日時 : 2010年8月21日(土) 14:00ー18:30

受付 : 13:00 開始 14:00-18:00 終了

ところ : 北大クラーク会館 講堂 〒060-0808 札幌市北区北8条西8丁目(北大構内)

主催 : 放送大学 北海道同窓会 (第2回みんなの音楽祭実行委員会)

後援 : 放送大学北海道学習センター・北海道教育委員会・札幌市教育委員会

ご来場お礼とご挨拶

あの猛暑の中、みんなの音楽祭にご来場くださりまして誠にありがとうございました。楽しい同窓会を目指して「ラテン音楽の夕べ」を昨年開催し、「来年も開催してほしい」とのアンケート結果から、みんなが参加でき、かつ、プロの音楽家による素晴らしい演奏も聴けるよう企画しました。放送大学同窓生や学生と懇意であることで快く引き受けて下さったプロの演奏家明楽みゆきさん・八條美奈子さん・宮本尚さんご協力感謝しております。又、音響・照明・舞台装置などで指導やサポートして下さいましたNPO法人北海道環境市民ネットワークの副理事長川口弘高さんや中川俊二後夫妻・多数のボランティアスタッフの皆様・道民カレッジの皆様に感謝し、又、放送大学北海道学習センターの事務室の方々、後援に感謝しております。

幹事全員が試行錯誤しながら進めましたので、手違い、不都合等有ったかと存じますが、スタッフの汗に免じてご容赦下さいます様お願い申し上げます。

放送大学は全国津々浦々で年齢・職業・環境などの多様な方々が学んでいます。特に北海道は面積が広大で顔も知らない学生が殆どです。みんなの音楽祭は、色々な方と親睦を深め生涯学習の一助となったのでしょうか。来年度からは北海道学習センターの学生・同窓生が合同で開催する事に成りました。これからも学友・同窓の同志として学業を楽しみながら交流を深めましょう。皆様、ご協力誠にありがとうございました。

放送大学北海道同窓会 会長 中根恵美子

2010 年度 1 学期卒業了を祝う会報告

< 2010 年 10 月 2 日卒業式の様子 >



卒業を祝う会の様子



ご卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です。

「私の受けた授業アラカルト」

全科履修生 札幌市 渡辺 澄子

平成十三年、放送大学に入学して以来、十年間、学ぶ者として<学ぶとはどういうことなのか>、<学ぶ事によって自分の中に何が得られるのだろうか>という二つの事を念頭に置いて学んできたのです。この十年間の私の人生の中で最も輝いた充実した刻でした。教科書のページをめくるたびに胸がときめいていました。

平成二十二年十月二日、卒業証書を手にした私の中には大きな達成感が生まれていました。このことは、これからの人生を生きてゆく上で大きなエネルギーの基となった事は間違いあ



りません。以下、多くの受けた授業の中で特に私の
中に大きな影響を及ぼしてくれた科目のいくつかをピンナップして
みました。

「教育心理学通論」

私が入学して一番最初に受けた授業です。「教えるとは何かー」
「学ぶとはどういうことなのかー」という基本的な事を教えられ、
これから受けるであろう数々の授業の道しるべとなったのです。

「歴史」について

日本史の古代から近現代までと、あますところなく学ぶことがで
きました。「北東アジアの歴史と朝鮮半島」や「中国社会の歴史的展
開」を学ぶことによって強く感じたことは歴史上での出来事が現在
も癒えぬまゝ深い傷跡となって今日に至っており、まさに近くて遠い国と実感させられまし
た。

「文学」について

文学全般については私の一番楽しみにしていた科目の数々でした。「世界の名作を読む」
の中では私がバイブルとしているドストエフスキーの名作「罪と罰」が取り上げられていま
した。私が現在読んでいる本、「死刑の基準」（堀川恵子著）は、昭和四十三年に実際に起き
た連続射殺事件「永山則夫」（平成九年死刑執行）の事を取り扱った本です。この本を読み
ながら私は小説「罪と罰」とがとても深い重なりを持っていることに気付かされたのです。
犯罪を通して「人間とは何か」「愛とは何か」ー特に犯罪を犯した者への強靱な愛は神の愛
とほとんど変わらないほどのものであることに気付かされたのです。

「ライフワーク」

最後に人生の生涯にわたっての道標となった科目が「生涯学習と自己実現」、「自己を見つ
める」でした。人の生涯を考える上で非常に示唆に富んだ授業でした。人生における現在の
自分の位置はどこなのかを考え、年齢を重ねたからこそ見えてくる人生の輝きがあることを
学んだのです。エーリッヒ・フロムは「理性によって客観的に世界を把握することが望まし
い」としていますが・・・

さて、これからの私は放送大学で学んだ一切のことを糧として己の命が尽きるまで学び続
けられたら最高の人生だと願っているのですがー。 終

江別市 岩岡 叡美子

酷暑の夏も過ぎようやく十月の頃となり道端の野菊も咲き、田端には金色に輝く稲穂が頭
を垂れ秋の気配を感じるようになりました。

この時期に私は晴れて大学を卒業いたしました。

一人ひとり学位記を手渡されその重みは私の待ち望んでいた月日の重みと同じでその時々
の色々な出来事や事情が思い出されました。三十代の子育ての頃、一度他の大学の通信教育

の申込みを手紙に事情をそえて いかがでしょうか！という申込みで、すぐに返ってきた返事は幼い子供二人を育て上げてからの方がいいでしょう、とのことであきらめ十数年立ちました。



子供も社会人となり親となり孫が出来る頃に放送大学に入学いたしました。茶道、華道の教室をもち指導しながら、自営業の事務、病気の母の身の回り、看護と色々な重なるアクシデントにぶつかりながら何とかなせばなるの気持ちでやりとげる事ができました。学習の方は日中は余りできませんが、夜母が眠りについた十時頃から夜中の二時頃までになっていました。科目は五―七、八科目で最初は一冊の教科書を三日間ぐらいで目で流し読みしてから放送で勉強し教科書に線引きを難しい所はノート

トに書き出すことで頭に残ります。

コースは生活と福祉ですがどの科目もただやり終えたというのではなく生活の中に活かされ自分自身のものごとの見方に影響をもたらしていると思います。

茶道でいう一碗から（ピースフルネスミ）の言葉を放送大学で学ぶ素晴らしさをこの言葉に重ねて誇りを持って他の人達にも進めていきたいと思います。

（努力をすれば成功する）という事を。

その他、放送大学エキスパートで福祉コーディネーター、次世代育成、この二つの認証状も取得しました。今後の人生に活かしていきたいと思います。長い間主人の送り迎え等の協力に感謝しながら又十月から大学院修士選科で学んでいきたいと思います。



（うたの会がお祝いに「喜びの歌・放大学歌等」をプレゼントしている様子）

絵画『北海道学習センター開設時の校舎』の除幕式

～ 北海道大学名誉教授

八鍬利郎より寄贈 ～

八鍬利郎北海道大学名誉教授より放送大学北海道学習センターに寄贈された絵画、『北海道学習センター開設時の校舎（旧昆虫学教室）』の除幕式が、5階ロビーに於いて筑和正格所長をはじめ北海道学習センター関係者、富田房男前センター長、学友会、同窓会が出席し、13時30分から行われました。

富田房男前センター長から、黒百合会顧問で画伯である八鍬利郎北海道大学名誉教授へ依頼された経緯が話され、序幕後、筑和正格所長から感謝状が授与されました。

緑の木々に囲まれた開設時の学習センターを懐かしく思う人、癒しを感じる人、ロビーで立ち止まり、ゆっくり観賞されてください。これからの21年目の歩みが続きます。この旧校舎に見守られ、見守り、放送大学生の学習生活がこの場で楽しく継続されることでしょう。

除幕式の様子



放送大学北海道学習センター開設 20 周年記念式典の様子

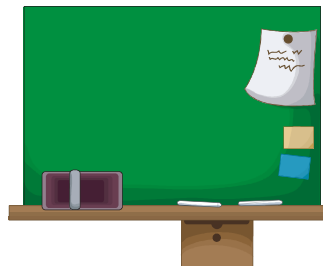


20 周年記念講演会演 題「迫りくる財政破綻の危機 -国の破産とは何か-」

演者 放送大学長 石 弘光



祝賀会の様子





北海道学習センター開設 20 周年おめでとうございます。

放送大学北海道同窓会長 中根 恵美子

この広大な北の大地に放送大学の拠点である学習センターが開設されて 20 年。今年度は 4 千数百人の学生が在学し、又、毎年約 150 名の学生が修了・卒業しています。全道の学友や同窓生が「学び舎」として大きな期待と信頼を寄せている場であります。

放送大学の学びは学友同士の顔が見えにくい事で孤独になりがちです。私も一人で暗中模索していた期間が長くありましたが、大橋同窓会副会長に誘われて同窓会に入り、お手伝いするようになり、又語学サークルに入るようになって、沢山の学友に出会いました。学習センターには仲間作りをするチャンスが一杯あることを知りました。数年前までは考えられなかったのですが、学友同士胸襟を開いて話し合えるようになりました。札幌近郊は勿論の事地方の学生や同窓生も学習センターや各サテライトなどを活用して、多くの学友と交流していただきたいと思います。

私たち北海道同窓会は前センター長の肝いりで設立してから 6 年が経ちました。学習センターのご協力・応援を頂きながら年 2 回の「卒業・修了を祝う会」や「全道生涯学習研究発表会」・「会報の発行」・「みんなの音楽祭」などの行事を行う事ができました。また、学友会を始めとする学生サークルとの交流にも活発に活動し、共感し、協力・協働したからこそ「第 2 回文化祭」も北海道学習センター全体としての成功になったと考えています。来年度からはより一層親睦を深めるため、「全道生涯学習研究発表会」・「みんなの音楽祭」を学友会や学生サークルと一体となって北海道学習センター全体の行事とするため実行委員会を立ち上げました。筑和センター所長や佐藤事務長や事務の方々に応援を頂き、又、学友会が実行委員長を引き受けて下さり、小林祐吉学友会会長が「第 7 回全道生涯学習研究発表会」実行委員長に選出されました。私たち同窓会は学生や母校の応援団として努力し続けます。

今後の北海道学習センターには学生や同窓生の粘着剤としての役割にも期待しています。今年の文化祭もその一つ行事になったと思います。また、「第 7 回全道生涯学習研究発表会」を学習センターが一体となった形で開催したいと筑和所長にお願いしましたら、「将来、北海道学習センターの学会にしようじゃないか」との力強いお言葉があり、実行委員会立ち上げにもご尽力下さり、期待に応じて頂きました。今後も学習センターや学友会・学生サークルと共に放送大学同窓会としての役割の重要性を考えながら進んで行きたいと思っていますので、ご協力、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

文化祭の様子



石川実行委員長挨拶



筑和センター所長挨拶



うたの会発表の様子



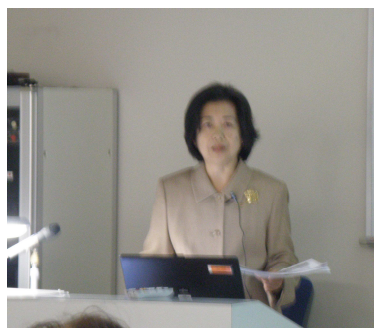
ロシア語研究会寸劇「大きなカブ」

バザーの様子



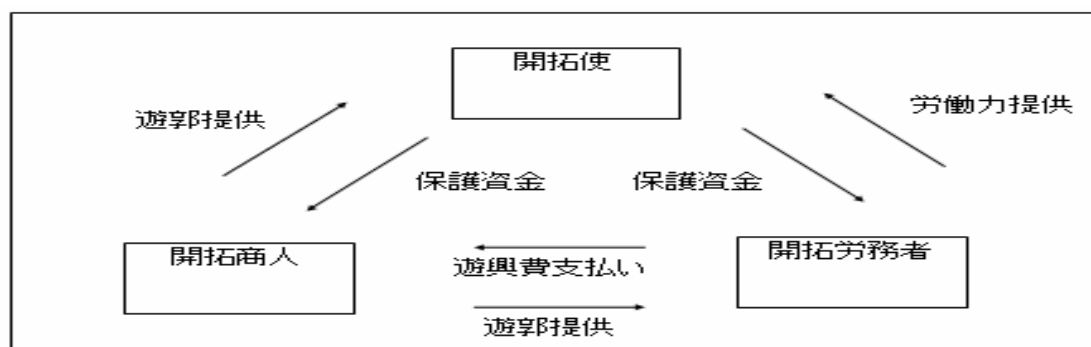
開拓使の時代と札幌草創期の開拓商人のあゆみ（要旨）

山崎 由紀子



明治 2 年から明治 15 年までの北海道開拓使の時代は、北の近海に出没するロシアの脅威にたいする警戒、北海道という未開の土地の開拓、貧窮士族の救済等の目的で、明治新政府によって北海道の開拓が本格的にはじめられた時代である。北海道の本府を札幌に定めて、未開の原生林を切り開いて、札幌の建設をはじめた。北海道開拓次官から長官になった黒田清隆は主要ポストを薩摩藩出身者で占め、北海道に莫大な開拓資金をつぎ込んだ。開拓のための移民に手厚い保護を与えて本州各地から募集したが、寒さの厳しい未開地の開拓は苦労が多く、開拓労務者はなかなか定住しなかった。労務者を定住させるため、かつ、風紀上の乱れを防ぐための社会的要請から、遊郭の設置をおこなった。

札幌は都市の設計の段階から、近世江戸時代の遊郭が設定されていて、近世の時代をひきずった都市であった。そして、開拓労務者にとって遊興娯楽の場が必要であったためばかりではなく、開拓使の官吏たちにとっても、遊興や社交の場として遊郭は必要な施設であった。秋田藩出身で下級武士の子孫である高瀬和三郎は弟に家督をゆずり箱館に渡り、ついで札幌に移住した。開拓使の保護を受けて、薄野で遊郭をはじめた。札幌の開拓は、開拓使と開拓労務者と遊郭経営商人の三者の相互依存の関係で成り立った。札幌草創期の遊郭経営者は、開拓商人ともいえるのではないだろうか。和三郎は武士の精神をもって、開拓使に協力して成功した、開拓商人であり、開拓者の一人でもあった。



札幌開拓のための開拓者相互依存関係図

第 2 回文化祭

文化祭のお礼とお知らせ

第 2 回文化祭実行委員会 石川 節子

第 2 回文化祭は皆さまのご協力により無事終了することができました。ありがとうございます。展示作品なども多数の応募があり、バザーも 22995 円の売り上げがありました。



寄附金を合わせまして 2 万 4 千円全額を「開設 20 周年」の祝賀事業のありました北海道学習センターに寄贈させていただきました。

この文化祭は各サークルと個人（在学生・卒業生・職員・教授）等により学習センター全体がひとつの輪となるための交流の場となることを念願して実行委員会により運営されます。ですから卒業生である同窓会の皆さまは当然その対象となる訳です。張切って参加して下さい。今は次期委員長を選出して第 3 回文化祭

に向けての準備をスタートさせる時期に当たっています。まだ規約等も決まっておらず、申し合わせにより前任者が次期委員長を選出することになっておりますので、委員となって文化祭のお手伝いを楽しんで下さる方は下記の日時に集まって下さい。次期委員長を自選または他選で選出し、第 3 回の文化祭を盛り上げてゆこうではありませんか。皆さまのご参加をお待ち申し上げましてご案内申し上げます。

記

日時 来年（2011 年）2 月 8 日（火） 午後 1 時から

場所 北海道学習センター 6 F

実行委員会 慰労会



「会員の声・読者の声」！

浜谷勝昭

放送大学で学んでいる学生の皆さん、同窓会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

2 学期から早 1 ヶ月を経過し、スクーリングの受講・レポートの提出そして専攻科目の勉強に励んでいることと思います。

私は、外国語必須 6 単位のうち 2 単位の修得が困難になり、思案しておりました。その頃、北海道の外国人観光客の入り込みが増加傾向になっていたのが、中国、台湾、韓国の方であるとの報道を見て、それでは、中国語、韓国語のうち中国語は、漢字国で理解し易いか、

韓国語は象形文字のようで難しいそうだと、どちらを選択しようかと考えていました。すると、韓国も十五世紀半ば迄、漢字の国であったことが分かり、日本語の発音と類似した漢字語が相当あり、しかも語順が殆ど同じということもわかり韓国語を選択しまして意外とスムーズに学べたと思っております。

その後、語学研究会、韓国語部門に入会させてもらい、習ったことを忘れないように、又、更に上達するように楽しく学んでおります。そして、ゆっくり、ゆっくりですが、少しずつ韓国語を知るにつれ、最近、街で韓国語の字句を見かけるようになりました。地下鉄駅、デパート、電気量販店等で韓国語を見て読み理解出来ることがあると習っていたことが無駄ではないと思います。

従って、究極的には、片言の会話でも韓国語で会話できるように勉強していきたい物です。

お別れの懇親会

皆さん、一緒に 韓国語を学びませんか？

여러분, 1 제에 한국어를 공부하지 않겠습니까?

여러분, 즐겁게 배웁시다 !!



現在、会員や読者の皆さんの声を募集しており、上記のように、会員の方から近況が届いておりお知らせ致します。是非、みなさんも近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非お寄せください。



「トヨタ苫小牧工場を見学して」

—トヨタホームは海外進出を—

秋川 好伸

放送大学研修旅行でトヨタ苫小牧工場を見学した。販売台数で世界1、2を争う自動車工場はどのような所だろうか、興味があった。工場ではロボットが部品を製造する生産ラインの長い工程をこなしているのが目についた。

この工場見て考えたのはトヨタ自動車の関連会社であるトヨタホームのことである。トヨタホームは60年保障の家を販売している会社だが現在の年間販売戸数はそれほど多くはない会社である。

住宅は車と同じくすそ野が広く関連する部材が非常に多い。私はどうして住宅関連会社が海外進出しないかと思っていたが、最近何社かが海外進出を決めた。海外では住宅事情が悪いところが多い。海外では企業の海外進出はあたりまえであり、中小企業でも世界各地へ進出していることは非常に多い。

現在のトヨタ自動車の海外進出とその販売網をみると、トヨタホームが海外進出を試して見たらいかなものかと思った。

2010年9月15日（水）

英語サークル Dandelion 10 周年に寄せて

英語サークル第4代会長 安達みゆき

放送大学の北海道学習センターで学びながら、縁あって英語サークルの末席に加えていただいて数年が過ぎました。英語力はとてもお話できるものではありませんが、なんと今年、会長さん(!)になってしまいました。しかも、今年は記念すべき、サークル創立10周年にあたるというではありませんか! 全く無謀なことでした。しかし、古株の執行部の皆さんは、陰になり日向になりして私をというより、サークルを支えてくださいました。西堀ゆり先生の記念講演会では、中講義室いっぱいの参加者を集めることができました。共催してくださいました学友会の皆様、ご参加いただいた同窓会はじめ生徒の皆様には深く感謝いたします。

サークル活動は、日ごろ孤独に勉強することの多い放送大学生としては、人と交流でき、対面で学びあえる貴重な機会です。時間的にも、地域的にも難しい方も多々おられましようが、ぜひお仲間にとお誘いしたいと思います。また、自主サークルですから、運営はボランティアです。事務局にも大変お世話になっていますが、基本は自分たちのアイデアと会員の協力で行なっています。それぞれの力に合わせて積極的に関っていただくことで、よりよいサークル活動ができると思います。今後ますますお仲間が増え、楽しい活動がずっと続きますようにと願っています。



英語サークル Dandelion 10 周年の親睦会
2010/08/28ー全日空ホテルにて



西堀ゆり客員教授の記念講演会

2010/08

/28



「文化祭」での掲示発表にて
2010/10/12ー

17

会費納入と新入会員募集のお知らせ

2010 年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へ納入くださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター
TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

放送大学北海道学習センター内

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函してくだ
さる事も可能です

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

2010 年 9 月卒業生

（生）澤口 猪吉 （生）岩間 叡美子
（心）金山 美保子 （人）柏原 雅樹
（自）古矢 光起 （人）金加 美恵子
（ ）吉永 めぐみ （自）斎藤 謙一
（生）山本 礼美子 （ ）佐藤 悦
〒・住所・電話番号などの変更のときは、
必ず、ご連絡をお願いいたします。

広告原稿募集！

同窓会会報では在学生のサークル活動などの人員募集広告を奉仕で掲載します。次号は 4 月 25 日が〆切ですのでこの囲み程の原稿をお持ち下さい。尚、紙面に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

お申込は E-Mail にて

tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp 中根宛にお願いします。

編集後記

2010 年度の同窓会の活動は例年の卒業を祝う会、生涯学習研究発表会、音楽会に加え、放送大学 20 周年の記念すべき式典に参加しました。また、それに合わせて第 2 回の文化祭を学友会、各サークルと一緒にいきなり行い、新たな一歩を踏み出した年でもありました。学習センター、学友会、同窓会が協力をしていく事で、同窓生の交流と発展があります。会報の情報を共有し、意見を頂きながら同窓会活動に繋げていきたいと考えています。皆様と一緒に母校の応援をよろしく願います。

編集者一同